

よみがえるあかがね街道・渡良瀬物語

みどり市観光ガイドの会 会長 松島 茂

群馬県みどり市は、平成18年の市町村の合併により出来た新しい市であります。北部は栃木県境（日光市）に接し、市を縦断する様に渡良瀬川と国道122号があります。この国道は旧あかがね（銅）街道と呼ばれ、足尾銅山より江戸浅草まで銅を運ぶ街道でありました。みどり市内には、その当時の宿場町が沢入宿、花輪宿、大間々宿（のちに桐原宿）とあり、大いに賑

わいを見せておりました。新市みどり市は今年で合併10周年を迎える訳ですが、まだまだ知名度の低さは否めない所です。そこで平成22年、みどり市観光ガイドの会が発足し、県内外にみどり市の魅力を伝え続けております。



1. あかがね街道

慶安2年（1649年）幕府によって制定され、足尾銅山で産出された銅を輸送するために造られた道路で、従来村人が利用していた生活道を拡幅し、排水・敷石等の整備をして出来たものです。

道幅は四尺、広い宿場で九尺の幅があったといわれています。この新しく造られ修理修繕された街道はあくまで「銅輸送」が主役であり、他の街道と異なり人間の往来は「従」と考えられていました。現代流に言えば、日本で初の産業物、物産物を運搬するために開発・修復された道、すなわち「産業道路」とでも呼べるのかもしれませんが。

足尾を出て利根川の平塚河岸までは陸路、その後は

水路で江戸浅草まで運ばれました。途中の宿場町は沢入・花輪・大間々（のちに桐原）・大原本町・平塚で陸路の距離はおおよそ14里半（58km）あったそうです。

今は僅かに点々と往時の面影のある街道が残るのみですが、国道と化した道路の端や旧道に面した寺社に多くの庚申塔・馬頭観音・地藏尊・如意輪観音塔の石造仏群があり、その遺跡の存在を教えてください。



あかがね街道の石畳

2. 坂東太郎岩の伝説

草木ダムの上流、東町沢入春場見地区の渡良瀬川沿いに「坂東太郎」と呼ばれている巨岩があります。高さ10m、幅20m、渡良瀬川の中では1番大きいとされる巨岩で、地元の方でしたらその伝説・逸話を知らない人はいないのです。この岩が人間に姿を変えてお伊勢参りに出かけた話や、日光東照宮の造営に使おうと職人が岩に杭を打つと真っ赤な血が噴き出したため運ぶのをやめたという逸話など。極めつけはこの巨岩が年々上流に昇っているという不思議な話もあります。いずれにせよ、その存在感は見る人を圧倒させます。



渡良瀬川最大の岩「坂東太郎岩」

3. 渡良瀬物語～花輪小学校体験入学・体験授業～

あかがね街道の花輪宿には、明治6年に開校し、昭和6年に建てられた花輪小学校があります。現在は旧花輪小学校記念館として多くの来訪者がおります。みどり市観光ガイドの会では、国の登録有形文化財でもあるこの校舎を使い、大人の方の体験授業をする企画を現在実験的に行っております。童心にかえり、昔懐かしい教室で聞く郷土の昔話、ピアノにあわせ童謡や唱歌を歌う音楽の授業、お昼には昭和の時代の給食をいただき、全課程終了後には卒業式も行います。授業を体験された方達は、子どもの頃にタイムスリップしたような感覚になり、大変感動される好評の企画となっております。



ピアノにあわせて歌う音楽の授業

4. 花桃の里づくり

現在東町では、大畑地区に700本、^{ごうど}神戸駅周辺に300本の花桃が植栽してあり、4月になると桃源郷の世界をつくり出し多くの観光客を楽しませておりま

す。昨年より「花桃の里づくり実行委員会」が組織され、10年かけて1万本の花桃の植栽をしようと目標を立て、昨年第1回の植栽が行われました。今年も11月に草木湖畔の富弘美術館周辺に植栽を予定しております。また、開花時期の4月には、神戸駅花桃まつり、小夜戸大畑花桃まつりを開催する予定であります。



小夜戸大畑花桃まつり

5. 草木湖周辺ウォーキング

みどり市観光ガイドの会では、現在東京近郊からの観光客の皆さんを毎日のように、わたらせ渓谷鐵道・神戸駅から草木ダム周辺までご案内をしております。このウォーキングコースの魅力は、まずローカル線に乗って目的地へ来られる事。そしてもう1つは草木湖周辺の大自然を味わえる事です。渡良瀬川のみかげ石群、旧足尾線の廃線跡の散策、草木ダム直下の広場、地元座間地区に流れる不動滝等々、都会では味わえない四季の移り変わりを肌で感じる事が魅力となっております。

みどり市の魅力お伝えするため頑張っておりますので、是非ともみどり市にお越し下さい。



みどり市観光ガイドの会による案内